

矢ヶ崎先生来岡！ 原爆症認定訴訟を支援する岡山の会・第五回総会

公開講演「内部被ばく犠牲者の切捨て」 ～原爆・ビキニ・チェルノブイリ、そしてフクシマ～

参加費無料です！
どなたでもご参加ください



矢ヶ崎克馬 先生の紹介

1943年、東京都に生まれる。
琉球大学名誉教授。03年より、
原爆症認定集団訴訟で内部被ばく
について証言を行なう。3.11震災
後は福島県の八つの自治体进行、
放射能測定を実施。衆議院科学技術
特別委員会の審議で参考人に招致、
内部被ばくについての所見を述べた。

と き・4月28日(土)
14:00～15:30

ところ・岡山国際交流センター8階
イベントホール

講 師・矢ヶ崎克馬 氏

〈会場案内〉 岡山市北区奉還町2-2-1 TEL086-256-2905



2010年6月16日、岡山地裁は川中優子さんの「原爆症認定申請却下処分取消」を求める訴えに対し「棄却」の判決を下しました。判決は「4km地点の被ばくは、放射能の影響はない。」というものでした。川中さんはこの判決を認められないと広島高裁に控訴しました。また、長崎入市で被爆し癌になったにもかかわらず、原爆症と認められなかった方が、新たな提訴に踏み切りました。

支援する会では、これらの裁判の最大の焦点である「内部被ばく」をとりあげ、矢ヶ崎克馬（琉球大学名誉教授）先生の講演を行ないます。昨年の3.11震災による原発問題においても、「内部被ばく」は見過ごすことはできません。67年前の長崎・広島の前爆の被害実相を知ること、現在の「フクシマ」を知ることではないでしょうか？多くの方のご参加をお待ちしております。

主催・原爆症訴訟を支援する岡山の会

事務局・倉敷市水島南春日町6-10 倉敷医療生協労組気付
TEL086-445-1258 FAX086-445-1267